

★★ 入る目的は? ★★

新学年度の始まる九月は、毎年ハラハラドキドキしながら学校に行きます。ハラハラするのは、落第している子どもがいらないかどうかという気持ちから。ドキドキするのは、やはり久しぶりに子どもに会えると思うと嬉しいという気持ちとどこか照れてしまう気もちから。新学期が始まって直ぐには、子ども全員が揃わないのも毎年のこと。それが一週間二週間経つうちに子どもがだんだんと揃ってきます。そうした中で、一時帰国後のそろばん教室最初の日は九月十一日でした。この日、いつも通って来る子ども以外に新しい顔ぶれがありました。嬉しいはずなのに、これまでの経験から裏を讀んでしまいます。目的は何? 本当にそろばんをやりたくて来ているの? きっかけはどんなことであつてもいいはずなのに、裏を讀んでしまう。悲しいかな……。過去にそろばん教室が終わる時間帯にまだ小さい下の兄弟をそろそろと連れてやってきた子どももいました。事実を確かめてはいないのに“親が教室に行けばパンがもらえる”と思つて教室に送りこんでいるのではないのか? そう疑り深く思つてしまいました。しかし、こうした子どもはやがて通わなくなつてしまいます。始めるきっかけはいつたい何が理由なのでしょう? 日本でも学習塾やスポーツクラブの新規募集には、いろいろな特典があります。そうした特典に魅了されて塾に入り、クラブに入る子どもは実際にいるのでしょうか? きっかけはどうであつても、頑張つて続けて欲しいなと願うばかりです。九月は、十一日と二十五日の2回開室しました。

今、ガーナは季節の変わり目で、雨がよく降ります。日本の梅雨のようなシトシト降る雨でなく激しく降る雨です。二十五日も雨が降りました。そろばん教室の日に雨が降ると、とても不安になります。“子どもたちは来てくれるのだろうか?”と。不安と来てくれるという微かな期待が入り混じり、雨の降る中、薄暗い教室で子どもたちを待つのです。子どもたちの姿を確認すると、

とつても嬉しくなります。それが毎日通つて来る子どもなら尚更です。二十五日はいつもの子どもたちではありませんでした。この日も、まったく新しい子どもでした。もちろん、普段の授業で知る子どもなので初顔ではないのですが、この時はやはり“何で来たの? しかも雨降っているじゃない?”と思つてしまったのでした。教室に来た際に出席表に名前を記入してもらいます。この日来た3人にそれぞれ名前を書いてもらった時の事。初めて来たというのに、先に書かれている名前から自分の名前を探している子どもがいました。何度も何度もボールペンで名前を指しながら、上から下に行つてはまたそれを繰り返し、やがて既に名前が記入されているところに○印をつけました。“名前を書いて”“初めて来たのよね?”こうした英語が伝わらないことにも驚き、出席表を確認すると、その子どもはダバスのところに○印をつけていたのです。“これはあなたの名前ではない。ダバスの名前よ。”そう伝え、名前を書かせました。きれいとは言えない字で自分の名前を書く子ども。どう見ても、ダバスのファミリーネームと重なるものはありません。ダバスと同じクラスの子どものなかで中学一年生です。この子どもが通い続けるのであれば、字をきれいに書くことも指導したいと思ひました。九月に入つて教室に通うようになった子どもが、ちゃんと通うようになれば、またそろばん教室も、ブラザー、ギルバード、ジョン、マティーナ、デイビット、クレナムがいた時のように平均して9人が来る教室になるでしょう。



協賛

トモエそろばん様

報告 TOSHIKO